

2012（平成24）年11月30日

関係各位

龍谷大学大学教育開発センター
センター長 長谷川 岳史
(公印省略)

第8回龍谷大学FDフォーラム2012「大学院教育の課題と大学院FD」のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、龍谷大学大学教育開発センターでは、毎年高等教育やFD活動に関する社会性・話題性のあるテーマを設定し、FDフォーラムを開催しています。

今年度は、テーマを「大学院教育の課題と大学院FD」と題し、基調講演には筑波大学大学研究センターの金子元久先生をお招きしご講演いただくとともに、先進的な事例について神戸大学大学院経済学研究科、同志社大学大学院グローバルスタディーズ研究科、龍谷大学大学院政策学研究科の取り組みを報告いただき、ユニバーサル化しつつある高等教育における、教育に主眼を置く私立大学にとって大学院教育はどのように存在し得るのか考えます。

つきましては、学事ご多忙の折誠に恐れ入りますが、是非ご参加くださいますようご案内させていただきます。

また、リーフレットを同封致しましたので、貴学の大学院に係る部署等に広くご周知いただければ幸いです。

敬具

記

○送付書類 「第8回龍谷大学FDフォーラム2012」チラシ

以上

大学院教育における課題と大学院FD

事前申込
必要

参加費
無料

1990年代の大学院の量的整備により、1991年から2000年の間に、大学院生はおおよそ10万人から20万人に倍増した。その一方で、大学院修了後の進路については、私立大学では進路未決定者が修士で24%、博士で37%に上る等、修了後のキャリアパスが見えにくくなっていることもあり、一部の大学院を除き修士課程、博士課程ともに入学者は定員を大きく下回っている。また、大学院における教育に関連して、「グローバルCOE」や「博士課程リーディングプログラム」等の、研究大学を中心とした予算の重点的な配分により、状況の二極化が進展している。ユニバーサル化しつつある高等教育における、教育に主眼を置く私立大学にとって、大学院教育はどのように存在し得るのか。日本における大学院教育を概観するとともに、論点と課題を整理する。

日時 2012年12月22日(土)
13:30~17:00

会場 龍谷大学
深草学舎22号館
201教室

プログラム

基調講演



「大学院改革の課題」

金子 元久 氏 (筑波大学大学研究センター教授、高等教育学会会長)

学士課程教育がユニバーサル化の段階に入る一方で、大学院の拡大が予想されてきました。しかし現実には大学院進学人数はここ10年近く停滞しています。中教審も昨年「グローバル化社会の大学院教育」で問題を提起し、いくつかの政策を講じていますが、大学自体が改革に踏み出さなければ、大きな変化は期待できません。大学院の停滞の背後には、どのような問題があり、大学はそれに対して何が求められるのか。こうした点をいくつかのデータの分析をもとに考えます。

事例報告1

「龍谷大学大学院政策学研究科における高度専門職業人養成の取り組み」

石田 徹 (龍谷大学大学院政策学研究科長)

事例報告2

「神戸大学大学院経済学研究科における学部大学院一貫教育の試み」

藤田 誠一 氏 (神戸大学大学院経済学研究科教授)

事例報告3

「同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科の取り組み」

内藤 正典 氏 (同志社大学大学院グローバルスタディーズ研究科長)

パネルディスカッション

パネリスト 金子 元久 氏
藤田 誠一 氏
内藤 正典 氏
石田 徹

コーディネーター 清水 耕介 (龍谷大学国際文化学部教授)

総合司会 長谷川岳史 (龍谷大学大学教育開発センター長)

主催 龍谷大学 大学教育開発センター

後援 公益財団法人大学コンソーシアム京都 全国私立大学FD連携フォーラム
協賛 関西地区FD連絡協議会

参加申込方法

参加をご希望の方は、FAX又はメールで氏名、所属、電話番号、メールアドレスを記入して

12月20日(木)までに

お申し込みください。

お問い合わせ

龍谷大学 大学教育開発センター
〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67
TEL (075) - 645 - 2163
FAX (075) - 645 - 2190
E-mail fd-ryukoku@ad.ryukoku.ac.jp

龍谷大学 深草学舎 22号館201教室



PROGRAM

「大学院改革の課題」

学士課程教育がユニバーサル化の段階に入る一方で、大学院の拡大が予想されてきました。しかし現実には大学院進学人数はここ10年近く停滞しています。中審審も昨年『グローバル化社会の大学院教育』で問題を提起し、いくつかの政策を講じていますが、大学自体が改革に踏み出さなければ、大きな変化は期待できません。大学院の停滞の背後には、どのような問題があり、大学はそれに対して何が求められるのか。こうした点をいくつかのデータの分析をもとに考えます。

金子 元久氏 (筑波大学大学研究センター教授、高等教育学会会長)

1950年生まれ。東京大学教育学部卒、同大学院教育学研究科修士、シカゴ大学Ph. D.、アジア経済研究所員、ニューヨーク州立大学アルバニー校客員助教授、世界銀行コンサルタント、広島大学助教授、東京大学助教授、同教授、同大学院教育学研究科長・教育学部長、国立大学財務経営センター研究部長を経て現職。東京大学名誉教授。中央教育審議会委員、高等教育学会会長。中国・北京大学、華東師範大学、復旦大学、中国科学技術大学の各顧問教授。専門は教育経済学、高等教育論。著書は『大学の教育力』(筑摩書房、2007年)など。



石田 徹 (龍谷大学大学院政策学研究科長)

1949年生まれ。1978年3月 大阪市立大学法学研究科博士課程単位取得退学。1979年4月 龍谷大学法学部助教授。1990年4月 龍谷大学法学部教授。1999年4月～2001年3月 教学部長。2002年4月～2004年3月 大学院法学研究科長。2004年4月～2006年3月 法学部長。2006年4月～2008年3月 研究部長。2011年4月～龍谷大学政策学助教授。2011年4月～現在に至る 大学院政策学研究科長(任期:2013年3月まで)。

【専門分野】政治学、福祉・雇用政策。日本政治学会、日本公共政策学会、日本行政学会、日本比較政治学会、北ヨーロッパ学会などに所属。

【主な著書】『自由民主主義体制分析』(法律文化社、1992年)、『現代政治学』(有斐閣、2003年<共著>)、『公共政策学』(ミネルヴァ書房、2003年<共著>)



藤田 誠一氏 (神戸大学大学院経済学研究科教授)

1956年生まれ。神戸大学大学院経済学研究科修士課程修了。神戸大学経済学部助手、講師、助教授を経て同学部教授。平成20年～22年経済学研究科長。現在、神戸大学大学院経済学研究科教授。日本金融学会理事、信用理論経済学会理事、文部科学省外国人留学生の選考等に関する調査・研究委員会委員。

【専門分野】国際金融

【主な著書】『国際金融論』(有斐閣、2008年<共編著>)、『現代国際金融論(第3版)』(有斐閣、2007年<共編著>)、『欧州中央銀行の金融政策とユーロ』(有斐閣、2004年<共編著>)、『ユーロと国際通貨システム』(蒼天社出版、2003年<共編著>)



内藤 正典氏 (同志社大学大学院グローバルスタディーズ研究科長)

1956年生まれ。1979年東京大学教養学部教養学科・科学史・科学哲学分科卒業(教養学士)。1981年東京大学大学院理学系研究科地理学専門課程(修士課程)修了(理学修士)。1981年～83年シリア、ダマスカス大学文学部地理学科に留学し、ダマスカス・オアシスでの沙漠化の研究に従事。1982年東京大学大学院理学系研究科地理学専門課程(博士課程)中退。東京大学教養学部人文地理学講座助手に採用。1986年一橋大学社会学部社会地理学講座専任講師に昇任。1989年同助教授。1997年同大学院社会学研究科地球社会研究講座教授に昇任、同年、一橋大学より博士(社会学)の学位取得。この間、1990～91年トルコの日本学術振興会アンカラ地域研究センター派遣研究員、91-92年文部省若手特別研究員としてアンカラ大学政治学部に滞在。2010年同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科教授に就任。現在、同研究科長、同志社大学アフガニスタン平和開発研究センター長。博士課程リーディング・プログラム「グローバル・リソース・マネジメント」プログラム・コーディネータ。日本学術会議連携会員(地域研究)。UNESCO人文・社会科学セクター-Management of Social Transformation学術諮問委員。

【専門分野】現代イスラーム地域研究、ヨーロッパの移民問題

【主な著書】『イスラームから世界を見る』(筑摩書房、2012年)、『トルコを知る53章』(明石書店、2012年<共編著>)、『イスラーム一顧しの知恵』(集英社、2011年)、『イスラームの怒り』(集英社、2010年)、『神の法vs.人の法』(日本評論社、2007年<共編著>)

会場：龍谷大学深草学舎22号館201教室

龍谷大学 深草学舎 22号館

事前申込
必要

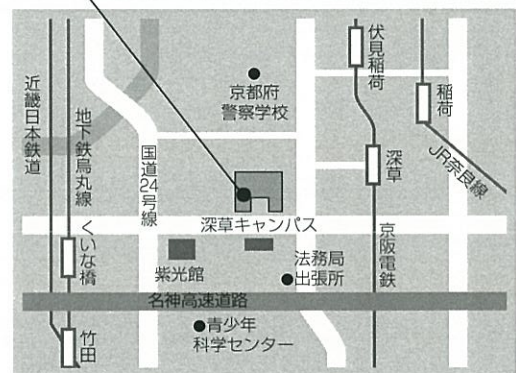
参加費
無料

参加申込方法

参加をご希望の方は、FAX又はメールで
氏名、所属、電話番号、メールアドレスを記入して

12月20日(木)までに

お申し込みください。



交通アクセス

- 京都市営地下鉄烏丸線、「くいな橋」駅下車、徒歩約10分
- JR奈良線「稲荷」駅下車、徒歩約8分
- 京阪「深草」駅下車、徒歩約3分

※会場へは公共交通機関をご利用ください。

「大学院教育における課題と大学院FD」フォーラム FAX参加申込書
FAX (075) - 645 - 2190 E-mail fd-ryukoku@ad.ryukoku.ac.jp

氏名

所属

電話番号

メールアドレス

@